

# 播磨科学公園都市の新たなあり方検討協議会ニュース

## 第1回 播磨科学公園都市の新たなあり方検討協議会を開催しました

播磨科学公園都市は、まちびらきから25年以上を経て、定住人口が停滞するとともに、インフラ・施設の老朽化等が進んでいます。

一方で、今後、SPring-8のグレードアップや、光都福祉交流・連携エリアの形成等、新たな展開も控えています。

企業庁においては、まちの開発者として、長年にわたり都市・生活基盤の維持に貢献してきましたが、地域整備事業の存廃も含めた抜本的見直しが求められる中、あらためて持続可能な都市運営の方策を探る必要があります。

こうしたことから、今後の新たなまちのあり方について検討するために、地元市町長、有識者、兵庫県などによる検討協議会を立ち上げました。

令和6年11月11日（月）に開催した第1回協議会では、播磨科学公園都市の現状・課題等について事務局から説明した後、委員の皆様から多くのご意見をいただきました。

### ■ 播磨科学公園都市の新たなあり方検討協議会の概要

【趣旨】 都市の維持・活性化等に係る現状・課題を共有し、今後の新たなまちのあり方を協議

【構成】 地元市町長、有識者、兵庫県（地元関係者：テーマに応じてオブザーバー等による参加）

<協議事項（例）>

播磨科学公園都市の現状・課題の共有

まちの新たな展開方策（活性化、価値向上等）

### ■ 第1回協議会の概要

日時：令和6年11月11日（月曜日）  
10時30分～12時00分

場所：兵庫県立先端科学技術支援センター 多目的室

出席者数：22人（現地参加19人、リモート参加3人）

議題：

- （1）播磨科学公園都市の現状・課題等について
- （2）今後の進め方について



▲協議会開催中の様子

### < 委員名簿 >

区分	所属・役職	氏名
地元市町	たつの市長	山本 実
	上郡町長	梅田 修作
	佐用町長	庵途 典章
有識者	地域政策・地域経済、福祉	兵庫大学 生涯福祉学部 教授 田端 和彦
	都市計画	兵庫県立大学 環境人間学部 教授 太田 尚孝
	都市政策	関西学院大学 建築学部 教授 清水 陽子
	地方財政	関西学院大学 経済学部 教授 上村 敏之
アドバイザー	研究機関、科学技術	国立研究開発法人 理化学研究所 放射光科学研究センター センター長室 高度研究支援専門職 伊藤 裕文
	建築・都市デザイン	大阪公立大学 特別教授 橋爪 紳也
	地域政策・地域活性化	兵庫県政策コーディネーター 田林 信哉 兵庫県政策コーディネーター 岩浅 有記
兵庫県	副知事	服部 洋平
	兵庫県立大学理学部長	吉久 徹
	総務部長	有田 一成
	企画部長	守本 豊
	福祉部長	岡田 英樹
	保健医療部長	山下 輝夫
	産業労働部長	原田 剛治
	土木部長	上田 浩嗣
	公営企業管理者	梶本 修子
	病院事業管理者	杉村 和朗
	教育長	藤原 俊平
西播磨県民局長	城下 隆広	

## ■ 委員からの主なご意見

### ●市町長ご意見

- 地元住民と地元企業に丁寧に説明し、理解・協力を求めることが必要。
- 地域の課題について、住民の意見を聞きながら丁寧に解決することが必要。
- まちびらき30年を機に、西播磨の核となるようなまちを目指すべき。

### ●有識者等ご意見

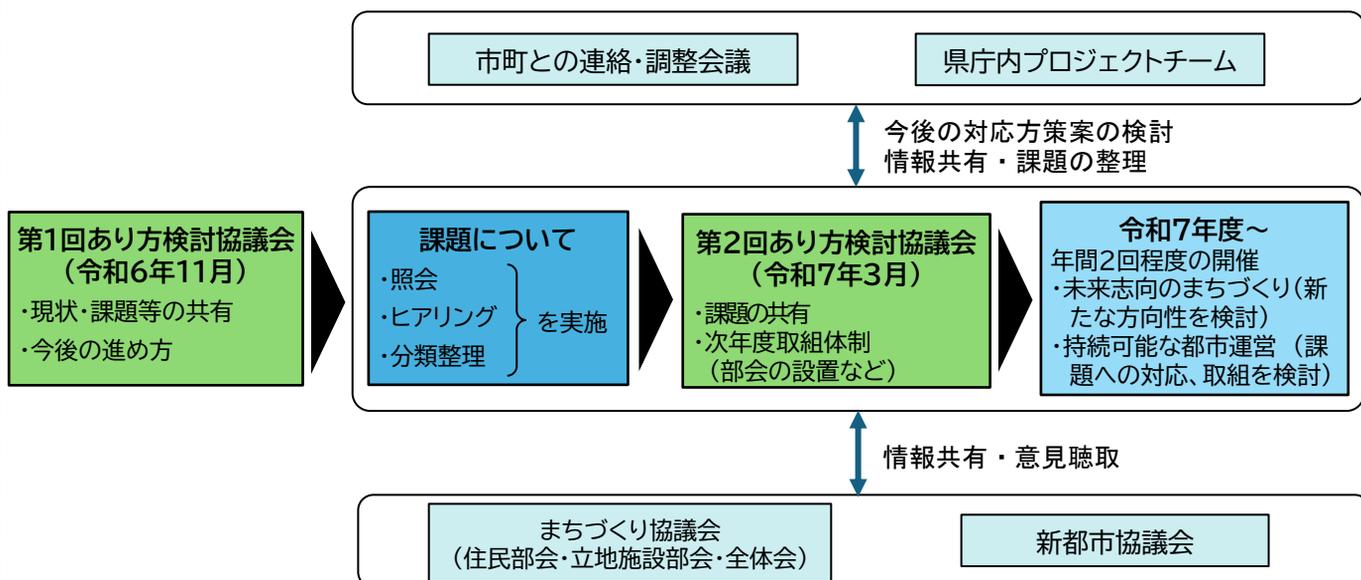
- まちの現状分析が必要。
- 地域に住んでいる方の意見を聞くワークショップなどの場が必要。
- 未来志向で考えて、持続可能なまちを目指すべき。
- 県、市町、住民、企業等が自分ごととして率先してまちのあり方について考えるべき。
- 国内外に向けてもっとプロモーションすべき。
- 住民や来訪者がどう感じているかなどを掘り起こしたうえで、まちの物語を見せていくべき。
- 新しい時代をけん引するコンセプトづくりが重要。
- SPring-8は世界一を奪還するため再整備を予定。

⇒第1回協議会の議事概要については、兵庫県ホームページに掲載しておりますので、詳しくはこちらをご覧ください。

URL : <https://web.pref.hyogo.lg.jp/kc12/harima/arikata.html>

## ■ 今後の進め方

- 地域の課題を市町に照会・ヒアリングし、第2回協議会で共有するとともに、令和7年度からの検討体制について協議します。



## お問い合わせ

部署名:兵庫県企業庁 地域整備振興課  
電話:078-362-3850 FAX:078-362-4270  
Eメール: [chiikiseibi@pref.hyogo.lg.jp](mailto:chiikiseibi@pref.hyogo.lg.jp)



兵庫県